

泌尿器科

Urology



佐藤病院泌尿器科では、尿路性器がんに対して、その診断、治療において、幅広く対応できる体制を整えています。尿路性器がんとは、腎がん、尿路上皮がん（腎盂がん、尿管がん、膀胱がん）、前立腺がん、精巣がん等を指します。以下に、当科での主要ながんについて、治療方法を紹介します。

■ 前立腺がん

1 根治手術

がんが転移を起こしておらず、前立腺内にとどまっている場合、根治を目指して、前立腺全摘術を行います。当院においては、開腹手術ではなく3D内視鏡カメラを使用した腹腔鏡下前立腺摘除術を施行しております。3Dカメラの導入により、従来の2Dカメラの腹腔鏡手術に比べて、手術時間の短縮（約2時間）、術後QOLの向上（術後尿禁制の早期回復、勃起機能温存）を実現することが出来ました。また、手術は仰向けに寝た姿勢で出来ますので、心臓、呼吸機能に問題があったり、緑内障で眼圧が高い様な場合でも、安全に行うことが出来ます。前立腺がんの全摘手術は、従来、出血の多い手術でしたが、これまで輸血をせずに手術を行うことが出来ています。

2 放射線治療

当院には、高性能な放射線治療装置が導入されており、前立腺がんに対しては、強度変調放射線治療（IMRT）を施行することが出来ます。IMRTも前立腺がんに対する根治治療として位置づけることが出来ます。

3 ホルモン療法

発見時に前立腺がんが転移を起こしていた、或いは高齢等で手術、放射線治療が適当でない場合、男性ホルモンを抑える薬による治療で前立腺がんをコントロールすることが可能です。最近では、前立腺がんに対する新規の分子標的薬も開発されており、治療の選択肢が広がっています。

4 経過観察

前立腺がんの中には、がんがあっても進行しないものがあることが知られています。このような場合、定期的な経過観察のみで良いことがあります。

医師紹介



部長 西村 昌則

- 《学歴》
 - 京大（昭和59年卒）
- 《資格等》
 - 医学博士
 - 日本泌尿器科学会認定 専門医・指導医
 - 臨床研修指導医
 - 緩和ケア研修会修了



医長 野村 武史

- 《学歴》
 - 京都府立医科大学（平成23年卒）
- 《資格等》
 - 日本泌尿器科学会認定 専門医・指導医
 - 日本透析医学会認定専門医
 - 緩和ケア研修会修了

■ 膀胱がん

尿路上皮がんの内、膀胱に出来るものが膀胱がんです。尿路を覆う粘膜上皮から発生し、後述する腎盂がん、尿管がんと病理学的には同じ組織から成ります。

一般的に膀胱がんでは、根が浅く悪性度の低いものに対しては、内視鏡的切除(TUR-BT)、根が深く悪性度が高いものに対しては、膀胱全摘術を施行します。膀胱がんに対する全摘手術では、膀胱を取ってしまった後に尿が出る道を作る必要があります。これを尿路変更法と言います。当科では、膀胱全摘術後の尿路変更法として、病気の進行具合を考慮する必要はありますが、可能な限りストーマを必要とせず、自然排尿が可能な「回腸新膀胱造設術」を行っており、患者様の「生活の質」を向上させることをめざしています。尿路変更法の手術として、代表的な術式は、①尿管皮膚瘻、②回腸導管、③回腸新膀胱があります。それぞれに長所、短所はありますが、手術後の快適さに焦点を当てれば、回腸新膀胱が最も優れていると考えられます。この術式は、採尿袋などが不要で、手術前と同じように自分で排尿が可能な方法です。しかし、場合によっては、新膀胱内に多量の残尿が発生して導尿が必要となったり、逆に、尿が漏れておむつが必要になるというケースもあります。当科で施行している回腸新膀胱の術式は、Hautmann法と呼ばれるものですが、術後20年以上経過した患者様においても、残尿がなくまた尿漏れもなくスムーズな排尿が可能となっています。膀胱がんは、抗がん剤に対する反応が良いので、がんが再発した場合や進行がんで発見された場合は、抗がん剤による化学療法を行います。



■ 腎がん

治療の第一選択は、手術による摘除です。腎臓を完全に摘出する根治的腎摘除術と、腫瘍部分を周囲の組織を付けて摘出する腎部分切除術があります。腫瘍が比較的小さいものに対しては、腹腔鏡下腎部分切除術が良い適応となります。近年、腎がんに対する手術療法は腹腔鏡手術が標準となっており、当院でもほとんどの症例を3D内視鏡カメラを用いて腹腔鏡下で行っています。

3D内視鏡カメラ イメージ

■ 腎盂がんおよび尿管がん

腎臓から尿管全長に渡って全摘する手術が、標準治療となります。この手術も、主に腹腔鏡手術で行います。再発、進行がんに対しての治療方法は、がんの性質が膀胱がんと同じであるため、化学療法を行います。

ご利用案内・お問合せ

詳しくはこちらまで

美杉会

検索



がん相談支援センター(1階 正面玄関横)

患者さん、ご家族、地域の方々、どなたでも無料でご利用できます。ご相談のご予約も承ります。

お電話での
ご相談・お問合せ

072-850-8711(代)

がん相談支援センターへとお申し出ください

受付時間

平日/9:00~17:00

土曜/9:00~12:00

地域医療連携室

地域の医療機関とのスムーズな連携に努めています

お電話・FAXでの
ご相談・お問合せ

専用FAX…072-809-5771
直通電話…072-809-5770

代表電話 072-850-8711(時間外)

受付時間

平日/9:00~20:00

土曜/9:00~12:00

お急ぎでない診療予約は時間外でもFAXでお受けいたします。ご返信は受付時間内になります。